

三井

APPROVED 1948
承認 昭和23年 月 日

受
6.1
付

NAME TANEZO OSAKADA

No. 509

Name of Company SANYO FAT CO., LTD.

個人調査書

(記載上の一般的注意)

- 一、本調査書は、三通提出しなければならない。
- 二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。
- 三、記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。
- 四、各記載事項は、空白のままにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。
- 五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
- 六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。
- 七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

三洋油株式会社 第 號

氏名 小坂田 藏

個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

オサカダ タネゾウ
小坂田 種藏

二、従業使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

該當事項なし

三、生年月日(年齢数え年)

明治二十五年三月二十一日生(五十七歳)

四、出生地(都道府縣)

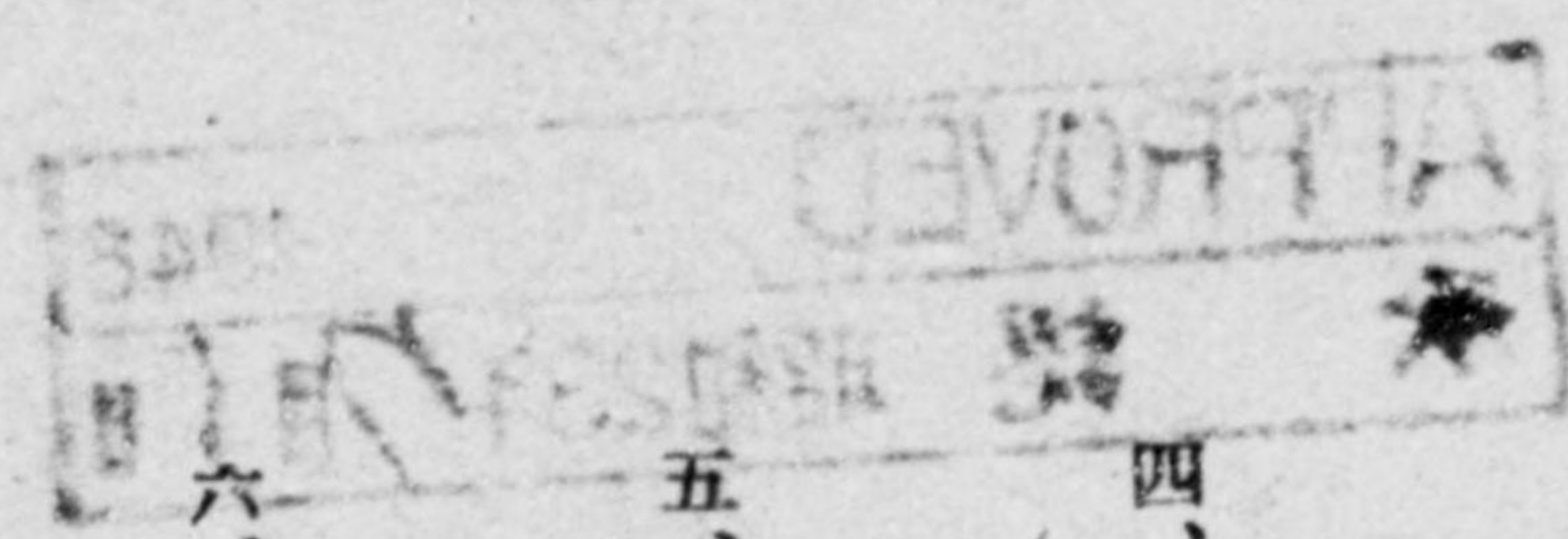
岡山縣英田郡吉野村大字五名五五二

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

愛知縣名古屋市西區堀越町字乗越二三八三洋油脂株式會社
電話西局六〇五・六〇六番

六、本籍地(略記しないこと)

岡山縣英田郡吉野村大字五名五五二



Page 1

Questionnaire

1. Name (In full).

Tanezo Osakada

2. Other names which you have used or by which you have been known.
(alias or penname).

None

3. Date of birth (age).

March 21, 1892 (56 years of age)

4. Place of birth (prefecture).

**No.552, Owaza-Gomyo, Yoshino-mura, Aita-gun,
Okayama-ken.**

5. Present address (in full) and telephone number.

**Tel. No.605, 606 (West Office)
Sanyo Fat Company No.23B, Aza Norikoshi, Horikoshi-
machi, Nishi-ku, Nagoya-shi, Aichi ken.**

6. Permanent address (in full).

No.552, Owaza-Gomyo, Yoshino-mura, Aita-gun, Okayama-ken.

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

三洋油脂株式會社 三井系統

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

財閥會社(三井本社傍系會社) 制限會社

(三) 地位

常務取締役、代表取締役

(四) 就任の豫定日

現任中

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

該當事項なし

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む。)

該當事項なし

(二) 指定者が指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

該當事項なし

Page 2

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

Sanyo Fat Company Ltd. Mitsui Line

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

**Zaibatsu Company (Subsidiary company of Mitsui Main),
Restricted Company.**

c. Position.

Managing Director; Representative Director.

d. Scheduled date of assumption of the position.

In the office at present.

8. All other positions and professions which you hold now.

None

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

None

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

None

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時に於ける當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
大正 六年八月	横濱ドック株式會社	技師	船用機關の修理	横濱市西區綠町三ノ四ノ一 造船、船舶修理業
大正十五年八月	東洋レイヨン株式會社	機械技師	人絹工場、機械設備新設並に修理、運轉	滋賀縣大津市石山北 大略四六ノ四 レイヨン製造、販賣業
昭和十一年九月				
昭和十一年九月	東洋絹織株式會社	機械課長	人造絹織工場建設並に運轉	愛媛縣伊豫郡松前町 ステイプルファイバ 製造、販賣業
昭和十四年六月				

昭和十四年六月 東洋レーヨン株式会社

一人造纖維工場の修二並に運

送

昭和十六年五月

せず、又取締役会に於て一度

も出席致しません

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

濕式精練工場の建設に當り本

社

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

黄蘗山並に二重化及素質

東京部中央区日本

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

造工場の技術部面を擔當

橋本二丁目二ノ一

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

百安鐵

郡馬郡吉田郡埴志

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

村字下俣

林田工場

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

一福井縣吉田郡森田

町字吉市

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

配黄採掘、精練、二重

化及素質

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

私は、帝國工業株式

事業内容並前記の通り

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

社事務取締役は在職の際、各

種文書を添付として就任し

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

たのです。依而東洋レー

ヨンの經營其の他の業務には

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

關係致しませんで、引續

き帝國債費の技術的業務に

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

専念して居りました。

又東洋レーヨンの取締役會

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

に、一度も出席致して居り

ません。

昭和十六年四月 帝國工業株式

取締役

東洋レーヨン取締役兼任

昭和十九年五月

昭和十九年五月

たのです。依而東洋レ
 ンの經營其の他の業務には
 關係致しませんで、引續
 自帝國統督の技術的業務に
 専念して居りました。
 又東洋レの取締役會
 に、一度も出席致して居り
 ません。
 東洋レの取締役兼任

(1) 私の東洋レイヨン株式会社 (三井財團連系會社) 役員就任期間中に

於ける當社の株式の一割以上の所有者の氏名及持株率

三井本社 三五、五%

其の他 六四、五%

(2) 私が役員として東洋レイヨン株式會社に勤務した期間に於ける他の役

員の氏名、地位及就退任年月日

(4) 私が取締役就任 (昭和十六年六月一日昭和十九年五月) 爲時の他の役員

役員氏名	地位	就任年月日	退任年月日
辛島淺彦	取締役	昭和十六年十二月廿四日	昭和十七年十月二日
藤島與三郎	社長	昭和十七年十月十九日	昭和十九年五月二十日
辛島淺彦	事務取締役	昭和十九年五月二十日	昭和二十年十一月廿四日
辛島淺彦	事務取締役	昭和八年七月十日	昭和十六年十二月廿四日
小澤武		昭和十六年十二月廿四日	昭和十九年二月廿八日

役員氏名	地位	就任	退任
辛島淺彦	取締役会長	昭和十六年十二月廿四日	昭和十七年 十月 二日
伊藤與三郎	社長	昭和十七年十月 十九日	昭和十九年 五月二十日
辛島淺彦	専務取締役	昭和 八年 七月 十日	昭和十六年十二月廿四日
小澤武	.	昭和十六年十二月廿四日	昭和十九年 二月廿八日
伊藤與三郎	.	昭和十九年 二月廿八日	昭和十九年 五月二十日
井上治一	常務取締役	昭和 八年 七月 十日	昭和二十年 三月卅一日
小澤武	.	昭和十一年 六月 八日	昭和十六年十二月廿四日
山田政治	.	昭和十七年 十月十九日	昭和廿一年十二月卅一日
田代茂樹	.	昭和十七年 一月廿二日	昭和二十年十一月廿四日
小澤武	取締役	昭和十九年 二月廿八日	昭和十九年 五月卅一日
笹木 梢	.	昭和十六年 六月廿八日	昭和十九年 二月廿九日
石田謙助	.	昭和十一年 六月廿六日	昭和十六年十二月卅一日
田代茂樹	.	昭和十一年十二月廿四日	昭和十七年 一月廿二日
高木宇吉	.	昭和十一年十二月廿四日	昭和二十年十一月廿四日
伊藤與三郎	.	昭和十七年六月 廿六日	昭和十七年 十月十九日
吉田初次郎	.	昭和十五年 六月廿五日	昭和十八年 五月卅一日

昭和十五年 六月廿五日
昭和十七年 十月 二日

高木宇吉	昭和十一年十二月廿四日	昭和二十年十一月廿四日
伊藤與三郎	昭和十七年六月廿六日	昭和十七年十月十九日
吉田初次郎	昭和十五年六月廿五日	昭和十八年五月卅一日
森 信 明	昭和十五年六月廿五日	昭和十七年十月二日
種村功太郎	昭和十八年十二月廿七日	昭和廿二年五月廿三日
津田政吉	昭和十五年十二月廿八日	現在に至る
	昭和十六年六月廿八日	昭和二十年十一月廿四日

池上章平	取締役	昭和十八年六月廿八日	昭和十九年三月卅一日
成 頼 達	監査役	昭和十三年十二月廿三日	昭和廿一年五月廿二日
佐羽太三郎		昭和十五年十二月廿八日	昭和十九年十一月廿四日

昭和十九年二月 三洋油脂株式会社

代表取締役
常務取締役

三洋油脂株式会社は、
チン法による滑油の製
造に失敗し、その責任を
取つて役員全員が總辭職
し、十九年二月新しく小
澤武氏が社長に就任し、
小澤社長の懇請に依つて
私が常務取締役に就任致
しました。私は二十二年
七月二日

東京本店
東京都中央区日本橋堀留
町二ノ一ノ一
愛知工場
名古屋西區堀越町字栗
越町二三八
京都工場
京都市東山區本町十二丁目
七二一

三洋油脂株式会社は、ピリヂン法による潤滑油の製造に失敗し、その責任を取つて役員全員が辞職し、十九年二月新しく小澤武氏が社長に就任し、小澤社長の懇請に依つて私が常務取締役就任致しました。私は二十数年來技術者として工場建設に多くの経験を持つてゐるのを買はれたのであり

東京本店
東京都中央区日本橋堀留町二ノ一ノ一
愛知工場
名古屋市中区堀越町字栗越町二三八
京都工場
京都市東山区本町十一丁目七二一
戦争中
潤滑油の製造並にその副産物の製造、販賣業

ます。私の職務は、陸軍の命令に依り一日も早く工場の建設に當ることでありました。従而工場の經營並に三井本社と東洋レゾンの連絡には小澤社長が當り、私は只工場の建設にのみ當りました。昭和十九年五月より同年九月迄は、東京本店にあつて、その監督を兼ね陸軍燃料本部と技術方面の連絡に當りました。が、原料資材の入手難、輸送の不圓滑の爲建設事業は、遅々として進まず難航を續けました。例々同二十年五月十四日、工場は震災を受け、工場事務所及工員寄宿舎住宅が焼失した爲、事務所の色澤災従業員の世話等

その戦争中の製品は試作品として僅かに十トン
戦後
醫藥品の製造販賣業
油脂を原料とする化粧品
並に織機線被油端の製造販賣業

現在に至る

八月十五日の終業を期へ
ました。愛知工場の建設
は一ヶ年有半を噴霧券に
終始し、その潤滑油の生
産も失敗に察し、僅かに
試作品として十余トンを出
したに過ぎないのです
その間八百萬圓の負債と
參百九拾萬圓の負債を出
しました。依而同工場の
閉鎖を決意し、十月初旬
役員一同は總辭職をしま
した。乍然十月廿五日の
臨時株主總會にて、私は
愛知工場の整理の爲技術
擔當役員として必要なる
理由で留任せしめられ、
今日に及んで居ります。
斯様に私は、就任來愛知工場の役
務し京都工場には一切關
與しませんでした。

工場の役

(1) 私の三洋油脂株式會社（三井財閥準直系會社）役員就任期間中に於け

る當社の株式の一割以上の所有者の氏名及持株率

三井本社（舊三井物産株式會社） 七五 %

東洋レィヨン株式會社 二五 %

(2) 私が役員として勤務した期間に於ける他の役員の名地位及就任年月日

(1) 私が三洋油脂株式會社取締役就任（昭和十九年二月一日）現在に至
る）期間中の他の役員

役員氏名 地位 就任月日 退任月日

(1) 私の三洋油脂株式会社(三井財閥準直系^傍系會社)役員就任期間中に於ける當社の株式の一割以上の所有者の氏名及持株率

三井本計(舊三井物産株式會社) 七五%

東洋レリヨン株式會社 二五%

(2) 私が役員として勤務した期間に於ける他の役員の名地位及就任年月日

(4) 私が三洋油脂株式會社取締役就任(昭和十九年二月一日)現在に至る)期間中の他の役員

役員氏名	地位	就任月日	退任月日
小澤 武	代表取締役社長	昭和十九年 二月一日	昭和二十年 十月二十五日
柴崎繁治郎	代表取締役社長	昭和二十年十月廿五日	現在に至る
田代茂樹	事務取締役	昭和二十年 四月十日	昭和二十年 十月二十五日
中島 恒雄	取締役	昭和十八年 三月八日	昭和二十年十二月 十日
多田繁三郎	・	昭和十九年 二月一日	昭和二十年十月二十五日
小室 健夫	・	昭和十九年 二月二日	昭和十九年九月 一日
橋本忠司	・	昭和十九年 九月一日	昭和十九年十一月二十四日
大場 幸彦	・	昭和十九年十一月廿四日	昭和二十年十月二十五日
生島朝太郎	・	昭和二十年 五月廿一日	昭和二十年十月二十五日
大西 太郎	・	昭和廿一年 九月廿八日	現在に至る
阪 貴	・	昭和廿三年 一月廿六日	現在に至る
宮本邦雄	監査役	昭和十八年 三月三日	昭和十九年 九月 一日
高木宇吉	・	昭和十八年 三月八日	昭和二十年 十月廿五日
	・	昭和二十年十二月 十日	昭和廿一年 九月二十八日

小澤 武	代表取締役 社長	昭和十九年 二月一日	昭和二十年 十月二十五日
柴崎繁治郎	代表取締役 社長	昭和二十年十月廿五日	現在に至る
田代茂樹	事務取締役	昭和二十年 四月十日	昭和二十年 十月二十五日
中島 恒雄	取締役	昭和十八年 三月八日	昭和二十年十二月 十日
多田繁三郎	・	昭和十九年 二月一日	昭和二十年十月二十五日
小室 健夫	・	昭和十九年 二月二日	昭和十九年九月 一日
橋本忠司	・	昭和十九年 九月一日	昭和十九年十一月二十四日
大場幸彦	・	昭和十九年十一月廿四日	昭和二十年十月二十五日
生島朝太郎	・	昭和二十年 五月卅一日	昭和二十年十月二十五日
大西太郎	・	昭和廿一年 九月廿八日	現在に至る
阪 賢	・	昭和廿三年 一月廿六日	現在に至る
宮本邦雄	監査役	昭和十八年 三月三日	昭和十九年 九月 一日
高木宇吉	・	昭和十八年 三月八日	昭和二十年 十月廿五日
尾崎壽一	・	昭和二十年十二月 十日	昭和廿一年 九月二十八日
大場幸彦	・	昭和十九年 九月一日	昭和二十年 十月二十五日
大場幸彦	・	昭和廿一年 十月二至舞	昭和二十年 九月二十八日
阪 賢	・	昭和廿一年 九月廿八日	昭和廿三年 一月二十六日
四柳興四治	・	昭和廿一年 九月廿八日	現在に至る

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.

10. Chronological record of profession and employment

Dates of employment and retirement	Name of company or organization where you served	Status of the position (including position as ordinary personnel)	Duties and powers (in detail)	Substance of business of organization or company where you served and its location.
August 1917 - August 1926	Yokohama Dock Company Ltd.	Engineer	Repairing of machines for ships	Shipbuilding and repairing of ships. 1 of 4 of 3, Midori-cho, Nishi-ku, Yokohama-shi.
August 1926 - September 1936	Toyo Rayon Company Ltd.	Machine engineer	Newly establishing of rayon factories and machine equipments as well as repairing and operating thereof	Manufacturing and selling of rayon. No.4 of 46, Kitaoji, Ishiyama, Otsu-shi, Shiga-ken.
August 1926 - June 1939	Toyo Silk Rayon Company Ltd.	Chief of machine section	Construction of textile factory and operation thereof	Manufacturing and selling of staple fibre. Matsumae-machi, Iyo-gun, Aichi-ken.
June 1939 - May 1941	Toyo Silk Yarn Rayon Company Ltd.	Director	Was in charge of repairing and operating of artificial fibre factory and was not engaged in company's management. He had not attended the meeting of directors not even once.	

April 1941 - February 1944	Imperial Sulphur Industrial Company Ltd.	Managing Director (senmu)	Was in charge of technical side of sulphur mine and bisulphide carbon manu- facturing factory in constructing wet method refining factory	Mining and refin- ing of sulphur and manufactur- ing and selling of bisulphide carbon. No.1 of 1 of 2, Horidome-cho, Nihombashi, Chuo-ku, Tokyo. Azuma Mine. Aza-chimata, Tsumakoi-mura, Azuma-gun, Gunma-ken. Morita Mine. Aza-Furuichi, Morita-machi, Yoshida-gun, Fukui-ken.
June 1939 - May 1944	Toyo Rayon Company Ltd.	Director	While I was still hold- ing the post of managing director (senmu) of the Imperial Sulphur Company Ltd. I assumed the post of director on condition that my post would be mere nominal. Therefore, I did not take any part in the management and other business of the Toyo Rayon, and continued to de- vote my energy to the technical work of Imperial Sulphur. I had not attended the meeting of directors of the Toyo Rayon even once.	

- 3 0

Resigned from
the post of
director of
Tokyo Rayon.

(1) Names and stock-holding percentages of stock-holder: owning 10% or more of the total stocks of this company during my tenure of office as an officer of the Toyo Rayon Company Ltd. (the company directly related to the Mitsui Zaibatsu).

Mitsui Main	35.5%
Others	64.5%

(2) Names, position and dates of appointment and retirement of their officials during my tenure of office as an officer of the Toyo Rayon Company Ltd.

(a) The list of names of other officers during the period I served as a director (June 1941-May 1944).

Names of officers	Position	Date of Appointment	Date of Retirement
KARASHIMA, Asahiko	Director and President	Dec. 24, 1941	Oct. 2, 1942
ITO, Yosaburo	Director and President	Oct. 19, 1942	May 20, 1944
	President	May 20, 1944	Nov. 24, 1945
KARASHIMA, Asahiko	Managing Director (senmu)	July 10, 1933	Dec. 24, 1941
OZAWA, Takeshi	Managing Director (senmu)	Dec. 24, 1941	Feb. 28, 1944
ITO, Yosaburo	Managing Director (senmu)	Feb. 28, 1944	May 20, 1944

INOUE, Jiichi	Managing Director (jomu)	July 10, 1933	March 31, 1945
OZAWA, Takeshi	Managing Director (jomu)	June 8, 1936	Dec. 24, 1944
YAMADA, Masaji	Managing Director (jomu)	Oct. 19, 1942	Dec. 31, 1946
TASHIRO, Shigeki	Managing Director (jomu)	Jan. 22, 1942	Nov. 24, 1945
OZAWA, Takeshi	Director	Feb. 28, 1944	May 31, 1944
SASAKI, Kozue	Director	June 28, 1941	Feb. 29, 1944
ISHIDA, Reisuke	Director	June 26, 1936	Dec. 31, 1941
TASHIRO, Shigeki	Director	Dec. 24, 1936	Jan. 22, 1942
TAKAGI, Ukichi	Director	Dec. 24, 1936	Nov. 24, 1945
ITO, Yosaburo	Director	June 26, 1942	Oct. 19, 1942
YOSHIDA, Hatsujiro	Director	June 25, 1940	May 31, 1943
MORI, Nobuaki	Director	June 25, 1940	Oct. 2, 1942
	Director	Dec. 27, 1943	May 23, 1947
TANEMURA, Kotaro	Director	Dec. 28, 1940	To the present
TSUDA, Masaki <i>chi</i>	Director	June 28, 1941	Nov. 24, 1945
IKEGAMI, Shohei	Director	June 28, 1943	March 31, 1944
NARUSE, Tatsu	Inspector	Dec. 23, 1938	May 22, 1946
SABA, Tesaburo	Inspector	Dec. 23, 1940	Nov. 24, 1944

February
1944 -
Present

Sanyo
Fat
Company
Ltd.

Representative
Director and
Managing
Director
(Jomu)

Sanyo Fat Company failed in the manufacturing of lubricating oil by the pyridine method and taking the responsibility all officers of the company resigned en bloc, and Mr. Takeshi Ozawa was appointed new President in Feb. 1944, and by the request of President Ozawa I was appointed managing director (Jomu), as I had much experiences in factory construction as a technical expert for the space of some twenty years. My duty was to construct a factory as soon as possible by the instructions of the Army. Accordingly, I was solely in charge of constructing the factory, while President Ozawa was in charge of factory management as well as in the discharge of liaison services between the Mitsui Main Company and the

Tokyo Head Office.
No.1 of 1 of 2,
Horidome-cho,
Nihombashi,
Chuo-ku,
Tokyo-to.

Aichi Factory.
No.235,
Aza-Norikoshi-machi,
Horikoshi-machi,
Nishi-ku,
Nagoya-shi,

Kyoto Factory
No.721, 11-chome,
Honcho,
Higashiyama-ku,
Kyoto-shi.

During the war.
Manufacturing of
lubricating oil
and manufacturing
and selling of
its side products.
During the war
only some ten tons
were produced as
tentative products.

After the war.
Manufacturing and
selling of medical
supplies, and
manufacturing and
selling of toilet
goods by fat as
raw materials as
well as of oil
for textile
machineries.

- 6 -

Toyo Rayon Company.
From May 1944 to September of the same year I was at the Tokyo Head Office, and was engaged in the supervision of construction work together with the liaison services with the technical fields of Army Fuel Headquarters, but owing to the difficulty of securing raw and construction materials and to the transportation difficulties construction work made very slow progress, and the company had to continue very hard voyage. In the meantime, the factory suffered war damage on May 14, 1945 and as the factory office, dormitory for factory workers and the living houses for company's employees were burnt down much had been devoted to the task of finding out factory office as well as to the task of looking after the war damage sufferers among the company's employees. And on August 15, 1945 the war came to a close. More than a year and a half were wasted for nothing in the construction of Aichi factory, and the production of lubricating oil also ended in failure producing only some 10 tons or so of tentative products. During this period the loss of Y8 million and the debts of Y3.9 million were made.

- 7 -

Accordingly the closing of the same factory was decided, and in the beginning of October all officers of the company resigned en bloc. However, at the extraordinary general meeting of the stockholders on October 25 I was detained in the office for the reason that for the settlement work of the Aichi factory my services were needed as an officer in charge of technics. And even today I am still in the same service. As has already been mentioned I have been in charge of only the technical side of the Aichi factory since the assumption of my office, and I have not at all been concerned with the Kyoto factory.

(1) Names and stock-holding percentages of stock-holders owning 10% or more of the total stocks of this company during my tenure of office as an officer of Sanyo Fat Company Ltd. (subsidiary company of the Mitsui Zaibatsu).

Mitsui Main
(old Mitsui Bussan Kabushikikaisha)

75%

Toyo Rayon Company Ltd. 25%

(2) Names, position and dates of appointment and retirement of other officials during the period I served as an officer.

(a) List of names of other officer during the period I served as a director of Sanyo Fat Company Ltd. (Feb. 1, 1944-Present).

Names of officers	Position	Date of appointment	Date of retirement
OSAWA, Takeshi	Representative Director and President	Feb. 1, 1944	Oct. 25, 1945
SHIBAZAKI, Shigejiro	Representative Director and President	Oct. 25, 1945	To present
	Managing Director (senmu)	Apr. 10, 1945	Oct. 25, 1945
TASHIRO, Shigeki	Director	March 8, 1943	Dec. 10, 1945
NAKAJIMA, Tsuneo	Director	Feb. 1, 1944	Oct. 25, 1945
TADA, Shigesaburo	Director	Feb. 1, 1944	Oct. 25, 1945
KOMURO, Takeo	Director	Feb. 2, 1944	Sept. 1, 1944
HASHIMOTO, Chuji	Director	Sept. 1, 1944	Nov. 24, 1944
OBA, Sachihiko	Director	Nov. 24, 1944	Oct. 25, 1945
IKUSHIMA, Asataro	Director	May 31, 1945	Oct. 25, 1945
ONISHI, Taro	Director	Sept. 29, 1946	To present.
SAKA, Mitsugi	Director	Jan. 26, 1948	To present.
MIYAMOTO, Kunio	Inspector	March 3, 1943	Sept. 1, 1944
TAKAGI, Ukichi	Inspector	March 8, 1943	Oct. 25, 1945
	Ditto	Dec. 10, 1945	Sept. 28, 1946
OZAKI, Juichi	Inspector	Sept. 1, 1944	Oct. 25, 1945

Page 4. 10.

- 2 -

OBA, Sachihiko	Inspector	Oct. 25, 1945	Sept. 28, 1946
SAKA, Mitsugi	Inspector	Sept. 26, 1946	Jan. 26, 1948
YOTSUYANAGI, Yoshiji	Inspector	Sept. 23, 1946	To present.

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

(一) 明文の取極の有無

明文の取極はありません。

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系會社が關與した事實の有無

私は、大正六年七月、東京大學工科大学機械科卒業し、横濱船渠株式會社（現在の三菱重工業株式會社横濱造船所）に入社し、同十五年八月迄、船舶の修理建造に従事致しました。時偶々、友人岩井尊人氏が、三井物産株式會社に居て、東洋レィヨン株式會社の創立業務を擔當し、その機械技術者を物色して居りました。

依而同氏の紹介にて大正十五年八月、東洋レィヨン株式會社に機械技師として入社致しました。

又、昭和十一年九月東洋絹織株式會社（當時東洋レィヨン株式會社の仔會社、現在同社愛媛工場）に入社致しました。

昭和十四年六月、技術者として努力した功績を認められ、東洋絹織株式會社に就任致しましたが、同十六年五月、同社が東洋レィヨ

ン株式會社に合併せられ、解散すると同時に、私も取締役を辭任致しました。取締役就任中は機械技術者として終始し、經營には全然關係せず、又取締役會には一度も出席致して居りません。

昭和十四年六月、技術者として努力した功績を認められ、東洋絹織株式會社取締役に就任致しましたが、同十六年五月、同社が東洋レーヨン株式會社に合併せられ、解散すると同時に、私も取締役を辭任致しました。取締役就任中は機械技術者として終始し、経営には全然關係せず、又取締役會には一度も出席致して居りません。

東洋絹織株式會社の取締役を辭任致した後、私は帝國鐵管工業株式會社に入社しました。帝國鐵管工業株式會社に於ては、當時吾妻鐵山に濕式精鍊工場を建設計畫中にて、工場建設に經驗ある技術者が無く、困つてゐた際ですので、同社、社長井上治一氏の懇請に依り、同十六年五月同社事務取締役として入社致し主として濕式精鍊工場の建設に當り又鐵管の採掘並に精鍊と二酸化炭素製造の技術部門を擔當致しました。

帝國鐵管工業株式會社（東洋レーヨン株式會社子會社）は資本金四拾萬圓の小會社でありまして、経営は當時の社長井上治一氏が當られました。

昭和十六年六月の定時株主總會に於て私が東洋レーヨン株式會社關係に技術上の功勞があつたと言ふ理由で東洋レーヨン株式會社の取締役に推薦されました。

に技術上の功勞があつたと云ふ理由で東洋レイヨン株式會社の取締役に推薦されました。

私は、東洋レイヨン株式會社の業務に直接關係なき身で、取締役に就任することは、不本意でありましたが、名義支拂を條件として快諾したのであります。依而私は帝國硫酸工業株式會社事務取締役在職の儘昭和十六年六月、東洋レイヨン株式會社の株主總會に於て取締役に推薦せられ、就任しました。乍然私は東洋レイヨン株式會社の經營、其他の業務には關係致しませんで引續き帝國硫酸工業株式會社の技術上の業務に専念して居りました。又東洋レイヨン株式會社取締役會には一度も出席致しませんでした。

又東洋レイヨン株式會社取締役就任については、親會社たる三井物産株式會社（株式會社三井本社）の事前承認は受けて居りません。

昭和十九年五月定時株主總會を機として、東洋レイヨン株式會社取締役を辭任致しました。その理由は、會社の業務に直接關係なくして永く、取締役に就任する事は、私の本意でない爲であります。

私は、昭和十九年三月、三洋油脂株式會社愛知工場に赴任致し、常務取締役に就任致しました。三洋油脂株式會社は、昭和十八年四月以來

陸軍燃料本部の命に依り、航空機用滑油製造の目的の爲めに、工場建設を計畫したのでありますが最初の計畫たる「ピリヂン」法に依る製造方法では全然不可能なることが明らかになり、同十九年二月取締役全員が工場建設に一頓座を來したその責任を取り、總辭職を致しました。依而、新しく小澤武（當時東洋レーヨン株式會社專務取締役）氏が社長に就任し、新しく人容を整備して、石鹼乾溜法に依る工場建設に着手し、工場建設に經驗ある主任技術者を物色して居つたのであります。その上、陸軍よりは工場建設を一日も早くやる様督促を受けて居つたのであります。

私は二十有年技術者として特に工場建設に多くの經驗を持つのを買はれたのでせう小澤社長より、三洋油脂の社況を説明され再三再四の勸力方懇請されましたので、當時帝國硫黄は、硫黄鑛山の濕式精鍊工場が完成し、硫黄の生産も増大し、私が帝國硫黄に赴任した目的も殆んど、達成されてゐた際であつたので、同社の專務取締役を辭任し、後任者に任せて、新しく三洋油脂株式會社の常務取締役に就任致し、助力することになつたのであります。

私の三洋油脂株式會社に於ける任務は、陸軍燃料本部の命に依り一日も早く工場建設に當ることでありました。

助力することになつたのであります。

私の三洋油脂株式會社に於ける任務は、陸軍燃料本部の命に依り一日も早く工場建設に當ることでありました。

従而小澤社長が愛知工場に常駐して専ら、會社の經營、東洋レィオン株式會社と三井本社との連絡に當つたのでありまして、私は、東洋レィオン株式會社及三井本社の利益を代表し又は、連絡に當る爲に、三洋油脂株式會社常務取締役に推薦されたものではありません。私は三洋油脂株式會社の常務取締役を、昭和二十年十月二十五日辭職致し、新しく同月同日の株主總會にて取締役に選任され同日の役員會にて、互選の結果、常務取締役に再選され現在に及んでおります。

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

No arrangement existed in writing.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

Having graduated the Machine Section of the Engineering Department of the Tokyo University in 1917 I entered the Yokohama Dock Company Ltd. (present Yokohama Dockyard of the Mitsubishi Heavy Industrial Company), and until August 1946, I had been engaged in the task of shipbuilding and repairing.

In those days Mr. Sonjin Iwai, who was a friend of mine and who was in the Mitsui Bussan Kabushiki Kaisha was looking for a mechanical engineer as he happened to be in charge of starting work of the Toyo Rayon Company Ltd.

Accordingly, by his introduction I entered the Toyo Rayon Company Ltd. in August 1926 as a mechanical engineer.

I also entered the Toyo Silk Yarn Company Ltd. (a subsidiary company of the Toyo Rayon Company Ltd. in those days: present Ehime factory of the same company) in September 1936.

In June 1939 I was appointed a director of the Toyo Silk Yarn Company Ltd. as a recognition of meritorious services offered to the company as a technical expert, but when the same company was dissolved in May 1941 having been amalgamated with the Toyo Rayon Company Ltd. I also resigned from the post of director. During my tenure of office as a director I remained to the last as a mechanical expert, and I had not taken any part at all in the company's management. I had not attended the meeting of directors even once.

Having resigned from the post of director of the Toyo Silk Yarn Company Ltd. I entered the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. In those days the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. was planning to establish a wet method refining factory at the Azuma Mine, and as the company was hard pressed for a technical expert experienced in factory construction I entered the company in May 1941 as a managing director (senmu) by the request of Mr. Jiichi Inoue, the President of the company. I was chiefly engaged in the construction of wet method refining factory. I was also in charge of technical fields of sulphur mining and refining as well as of manufacturing bisulphide carbon.

Page 5. b

Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. (subsidiary company of the Toyo Rayon Company Ltd.) was a small company with a capital of Y400,000, and Mr. Jiichi Inoue, the President, was in charge of company's management.

At the regular general meeting of stockholders in June 1941, I was recommended as a director of the Toyo Rayon Company Ltd. as a recognition of my distinguished services offered to the Toyo Rayon Company Ltd. as a technician.

It was against my will to assume the post of director, for I was not directly concerned with the business of the Toyo Rayon Company Ltd., but, with pleasure, I accepted the offer on condition that my holding of the post of director was mere nominal. Accordingly, I was appointed a director at the general meeting of stockholders of the Toyo Rayon Company Ltd. in June 1941 while I was still at the post of managing director (senmu) of the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. However, I continued to offer my technical services to the Imperial Sulphur Industrial Company Ltd. without taking any part in the management and other business of the Toyo Rayon Company Ltd. I attended the meeting of directors of the Toyo Rayon Company Ltd. not even once.

In assuming the post of director of the Toyo Rayon Company Ltd. no pre-recognition of the parent company

of the Mitsui Bussan Kabushiki Kaisha (Mitsui Main Company Ltd.) was received.

At the regular general meeting of the stockholders in May 1944, I resigned from the post of director of the Toyo Rayon Company Ltd. for as it was not my will to remain long in the office without having direct contact with the company's business.

In March 1944, I proceeded to the Aichi factory of Sanyo Fat Company Ltd., and assumed the post of managing director (jomu). Since April 1943 Sanyo Fat Company Ltd. had been planning to construct a factory for the object of manufacturing lubricating oil for aircrafts by the instructions of the Army Fuel Headquarters, but as it was made clear that manufacturing of oil was absolutely impossible by the Pyridine method of manufacturing which was planned at first; and in February 1944 all of the directors resigned en bloc taking responsibility for the fact that factory construction had come to meet a setback.

Thereupon Mr. Takeshi Ozawa (he was the managing director "senmu" of the Toyo Rayon Company Ltd. in those days) was appointed new President, and having adjusted the new personnel he started construction of a factory by soap dry distillation method; and at the same time he was looking for a chief technical expert experienced in factory construction. However, he was urged by the Army to construct the factory as quickly as possible.

President Ozawa explained to me the condition of Sanyo Fat Company, and asked me again and again to render him assistance: this might have been due to the fact that I had much experiences, particularly in factory construction as a technical expert for over 20 years. As, by that time, my object of proceeding to the Imperial Sulphur Company was almost accomplished by the increase of sulphur production of the company with the wet method refining factory of sulphur mine having been completed, I resigned from the post of managing director (senmu) of the same company, and was newly appointed a managing director (jomu) of Sanyo Fat Company in order to offer my assistance.

My duty at Sanyo Fat Company was to construct a factory as quickly as possible by the order of the Army Fuel Headquarters.

It was President Ozawa who constantly remained at the Aichi factory and was fully engaged in the company's management as well as in the discharge of liaison services with the Toyo Rayon Company Ltd. and the Mitsui Main, and I was not at all recommended to assume the post of managing director (jomu) of Sanyo Fat Company Ltd. in order to represent the interests of the Toyo Rayon Company Ltd. and those of the Mitsui Main or to act as a liaison officer. I resigned the post of managing director (jomu) of Sanyo Fat Company Ltd. on October 25, 1945, and was newly elected as a director at the general meeting of stockholders on the same day of the same month and at the officers' meeting on the same day I was re-elected a managing director (jomu) as a result of mutual vote. At present I am still holding the same post.

Page 5

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

昭和二十三年六月十日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名

小坂田種彦



Page 6

12. Date

June 10, 1948

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and complete disclosure on relevant or material matters in this questionnaire will subject me to penalty in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signature

T. Ozakada

Application for permission of inapplicability
of official in Zaibatsu Connection in accordance
with the provisions of Article 7 of the Law for
Termination of the Zaibatsu Family Control.

February 5, 1948.

To the Prime Minister

1. Applicant: Seijiro Mizukami
26, Taira-machi, Meguro-ku Tokyo.
2. Position of the Applicant:
Name of Company: Japan Electronic Industrial Co., Ltd.
(Associate company of Zaibatsu Nissan
lineage)

Status of official: Director

Tenure of the office: From May 28, 1944.
To November 15, 1945.

The undersigned, applicant hereby comes to forth to apply
in accordance with the provisions of Article 7 of the Law for
Termination of the Zaibatsu Family Control, for permission of
inapplicability of official in Zaibatsu Connection in view of
the reason stated in the annexed paper.

Applicant: _____
Seijiro Mizukami

Reasons for making application:

1. There was no existence of relationship with the persons belong to the said Zaibatsu (Gisuke Aikawa of Nissan lineage) or spouses of its family members or parents and children, brothers, and sisters or their spouses.
2. At the time of assumption of the said position as official (assumed the position of director of Japan Electronic Industrial Co., Ltd. associate company of Nissan lineage on May 28, 1944) there was no arrangement that the previous approval be obtained from the said Zaibatsu (Gisuke Aikawa of Nissan lineage) or its direct Zaibatsu affiliate (Manchuria Investment Securities Co., Ltd.). Furthermore the applicant in fact, did not obtain any approval from those sources.

Details of circumstances under which the applicant assumed the position of official are stated in paragraph 11 of the personal questionnaire.

In addition a copy of reply of the Closed Institutions Liquidating Commission as the Special Liquidation of the Manchuria Investment Securities Co., Ltd. is attached herewith for the documentary evidence.

3. The applicant in fact had no rights or control over that of the supreme representative official (Mr. Mikitaro Miho) at the Zaibatsu associate company (Japan Electronic Industrial Co., Ltd.) where the applicant served.
Details of duties are stated in paragraph 10 of the personal questionnaire. Furthermore a certificate issued by the said company is attached herewith for the documentary evidence.
4. The applicant have never held position of official over 4 at the same time in Zaibatsu Company which belongs to the said Zaibatsu (Nissan Lineage).

Application:

Seijiro Mizukami

English translation

February 4, 1948.

To the Japan Electronic Industrial Co., Ltd.

Gentlemen:

In answer to your inquiry about the subject mentioned below I have examined records of the Manchuria Investment Securities Co., Ltd. and I beg to inform you that there is nothing to correspond with the matter, namely: Whether or not the arrangement that the previous approval be obtained or the approval given in ^{written} writing from the Manchuria Investment Securities Co., Ltd. regarding assumption of the position of official of the Japan Electronic Industrial Co., Ltd. existed before January 7, 1948.

Yours sincerely,

sgd. Shoichiro Kobayashi,

Chairman of Closed Institutions
Liquidating Commission.

Special Liquidator of Manchuria
Investment Securities Co., Ltd.

Certificate

Name: Seijiro Mizukami
Status of official: Director
Tenure of the office: From May 28, 1944
To November 15, 1945

I, undersigned, hereby certify that the directors representing this company were two persons as given below during the period when the above mentioned person assumed the position of official in this company.

Mr. Mikitaro Miho

Mr. Genjiro Ogura

sgd. _____

Nobuyuki Takagaki

Representative Director of
Japan Electronic Industrial
Company Ltd.

February 2, 1948.

APPROVED 1948
承認 昭和23年11月10日

NAME Seijiro Mizukami

受
32.5
付

No. 304 Name of Company

上田 操

個人調査書

(記載上の一般的注意)

- 一、本調査書は、三通提出しなければならない。
- 二、調査書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。
- 三、記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。
- 四、各記載事項は、空白のままにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。
- 五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
- 六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。
- 七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

會社 第 號

氏名

水上清次郎

個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

水上 清太郎

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

該当事項なし

三、生年月日(年齢数え年)

明治三十七年七月二十四日(五五又)

四、出生地(都道府縣)

富山縣

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

東京市目黒区千代田二丁目 電話在来(03)一一〇三番

六、本籍地(略記しないこと)

東京市目黒区千代田二丁目

新

Page 1

Questionnaire

1. Name (In full).

Seijiro Mizukami

2. Other names which you have used or by which you have been known.
(alias or penname).

none

3. Date of birth (age).

July 24, 1894 (age 55)

4. Place of birth (prefecture).

Toyama Prefecture

5. Present address (in full) and telephone number.

26, Taira-machi, Meguro-ku, Tokyo

TEL: Ebara (08) 1103

6. Permanent address (in full).

11, Yotuya-Shinano-machi, Shinjuku-ku, Tokyo.

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

株式会社 光精機製作所 日産系

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

從屬會社

(三) 地位

取締役会長

(四) 就任の豫定日

現在職

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

株式会社 光精機製作所 取締役として 特別代理人

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む)

關係なし

(二) 指定者か指定された日において指定者と同一戸籍内にあつたことの有無

該当せず

Page 2

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

(Kabushiki Kaisha Hikari Seiki Seisakusho
(Hikari Precision Instruments Works, Ltd.)
Nissan Lineage

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

Subsidiary Company

c. Position.

Chairman of Board of Directors.

d. Scheduled date of assumption of the position.

Hold office at present.

8. All other positions and professions which you hold now.

**Special supervisor as director of Hikari
Precision Instruments Works, Ltd.**

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

none

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

none

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の待遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること

- (1) 本人の役員としての就任及び退任の時における當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
- (2) 本人が勤務した期間における他の役員の氏名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地
<p>大正八、一、一 昭和一、四、一</p>	<p>台湾電力株式会社</p>	<p>書記 主任 副社長 取締役 主任</p>	<p>台電株式會社 台電株式會社 台電株式會社</p>	<p>台電株式會社 台電株式會社 台電株式會社</p>

<p>昭和二十一年 三月 上野</p>	<p>昭和二十一年 五月 三十八 光明</p>	<p>昭和二十一年 三月 十九 新設</p>	<p>昭和二十一年 三月 十八 新設</p>
<p>日本電子工業 株式会社</p>	<p>東洋電機株式 会社 被令所 三十一</p>	<p>光電波株式 会社</p>	<p>株式会社 光精機製作所</p>
<p>取締役</p>	<p>取締役</p>	<p>取締役</p>	<p>取締役</p>
<p>昭和二十一年 三月 東京 専任理事 一人</p>	<p>昭和二十一年 三月 東京 官庁方面 専任理事 一人</p>	<p>代取取締役</p>	<p>取締役 一人</p>
<p>東京 西八丁 六</p>	<p>東京 無印通信 株式 会社 三 三</p>	<p>東京 三軒 三 三</p>	<p>東京 三軒 三 三</p>

昭和二十一年三月十八日

0

0

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.

10. Chronological record of profession and employment.

Dates of employment and retirement	Name of company or organization where you served	Status of the position (including position as ordinary personnel)	Duties (in:)
Jan. 1, 1919. Emp. Apr. 1, 1935. Ret.	Taiwan Electric Power Co., Ltd.	Clerk Henceforth served as chief of business Sec. Chief of Business Dept. Chief of Accounting Dept. and Chief of Tokyo Branch.	Served of Busi
March 18, 1943. Appt.	Hikari Presice Instruments Works Co., Ltd.	Director	Chairman Director
Jan. 29, 1944. Appt.	Hikari Electric Wave Co., Ltd.	Director	Represent
May 28, 1944. Appt.	Japan Electronic Industrial Co., Ltd. (In consequence of Hikari Electric Wave Co., Ltd. was incorporated to the above company.)	Director	During 1 Handled of negot governme In 1945: No parti
Nov. 15, 1945. Resd.			

Note 3 : Stated in attached paper. paper.

and employment.

employment.

status of the
position (including
position as
primary personnel)

Work
performed served
chief of
Business Sec.
Chief of Business
Dept.
Chief of Account-
Dept. and
Chief of Tokyo
Branch.

Director

Director

Director

Duties and powers
(in:detail).

Served at Business Sec.
of Business Dept.

Chairman of Board of
Director

Representative Director

During 1944:
Handled the Business
of negotiations with
government authorities.
In 1945:
No particular duties.

Substance of business of
organization or company
where you served and
its location.

Undertaking of electric
power in Formosa.
Taihoku City of Formosa.

Manufacturer and sale of pump
and other machine and appliances
and wireless apparatus.
Located at Kitakojiya-cho,
Kamata-ku, Tokyo.

Manufacture and sale of radio
apparatus and spark plugs.
Located at Oi-minami-hamakawa-
cho, Shinagawa-ku, Tokyo.

Manufacture and sale of radio
communication apparatus and
optical apparatus.
Nishi 8-chome, Ginza, Chuo-ku,
Tokyo.

stated in attached paper. paper.

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有無

無

(一) 明文の取極の有無

該当事項なし

(二) 本人の役員としての就任の事情の詳細、特にその就任につき財閥又は財閥直系會社が關與した事實の有無

昭和十九年當時代表取締役として在職している丸電板林會社は同年三月
下日日本元音工業株式會社(日本元音工業株式會社前身)と合併契約を締結した。
その目的は時局の要請に対応して生産量を向上し工業的方面に貢献する
こととするを前記両會社が合併し各社に分散した技術、文
流施設の活用を以て統合による生産の効率化を企図したものであり、
合併手続は正規を履踐し同年五月廿八日日本元音工業株式會社は報告
書會を開催し合併承認と同時に高橋を日本元音工業株式會社と
改称し併せて役員改選が所議され、結果、満洲投資株式會社
會社役員の仕事二名、被合併會社の代表役員及び技術首席者
八名、其他各役員、取術、有能者等合計十八名が新たに就任致し
ました。

vi

即ち申請者の場合は、被合併会社の代表役員として選任とされたもの
であり、特に就任につき、或間又は或間直系会社の間與しと云ふ
ことは、誤りであるものと信じます。

persons in business management and technical experts.
Accordingly in the case of the applicant he was
elected to official of the new company as the represent-
ative official of the company which was merged in, and
therefore he firmly believes that it is not applicable
to the circumstances under which the Zaibatsu or the
direct Zaibatsu affiliate particularly concerned in
approving his assumption of office.

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

none

b. Details of circumstances under which you assumed the position of official; particularly whether or not the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate was concerned in approving your assumption of office.

The Hikari Electric Wave Co., Ltd. where the applicant was serving as representative director in 1944 entered into an amalgamation contract on the 21st February of the same year with the Japan Light and Sound Industrial Co., Ltd. (Antecessor of the Japan Electronic Industrial Co., Ltd.)

Its object was to render valuable services to cope with the requirement of the state of affairs at that time for research works and experimental manufacture of electric wave and electronic technological apparatus, and under the amalgamation of eight companies including the aforesaid two companies the new organized company was going to plan for unified and effective production of the same making the most of equipments and technical abilities owned by the former companies.

The process of the amalgamation was carried out through the regular formalities to the effect that the Japan Light and Sound Industrial Co., Ltd. convened a general meeting of shareholders for the purpose of report of the organization of the new company and obtained an approval of the amalgamation and at the same time the name of the new company was changed as Nippon Denshi Kogyo K.K. (Japan Electronic Industrial Co., Ltd.) In addition, as the result of discussion relating to re-election of officials the following 18 persons in all were elected and newly appointed, namely; 2 officials of the Manchuria Investment Securities Co., Ltd. as additional post, 8 persons from among representative officials or principal technical experts of the former companies which were incorporated to the new company, and other capable

十二、本調査書作成年月日

以永三十三
年二月五日

「この調査表の記載は眞實であり且つ完全であることを確言する、又私はこの調査表の重要な事項について虚偽又は事實をかくした記載があるときは財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられることを諒承してをる旨申し添える」

署名

水原浩郎



Page 6

12. Date

February, 5. 1948

13. I hereby certify that entries made in this questionnaire are true and complete. I further add that I understand that entries false or lacking full and complete disclosure on relevant or material matters in this questionnaire will subject me to penalty in accordance with the provisions of Article 31 of the Law for Termination of the Zaibatsu Family Control.

Signature

Seijiro Fujitani

十 註三の附記事項

(1) 本人の役員としての就任及び退任の時における当該会社の株式の1割以上の所有者の氏名及び持株率

就任時 (昭和十九年五月二十八日) 満洲投資証券株式会社 六割六

株式会社千葉製作所 二割六

退任時 (昭和二十年十一月十五日) 満洲投資証券株式会社 六割六

小倉源治郎 一割三

株式会社千葉製作所 一割三

(2) 本人の勤務した期間における他の役員の名、地位及び就任退任年月日

氏名	地位	就任年月日	退任年月日
三俣幹吉郎	代表取締役	昭和一九、五、二八	昭和二〇、一一、一五
小倉源治郎	同	同	当時在職

山田英吉	取締役	同	二〇、一一、一五
須子信一	同	同	同

三伴 幹古印
小倉 源治郎

地位

代表 取締役

就任 年 月 日
昭和三十九年 五月 二十八日

退任 年 月 日
昭和三十九年 十一月 二十五日
当时在職

山田 英吉	須子 信一	伊藤 豊	石川 志朗	高垣 信之	中野 辰一	中村 珍次	植村 泰二	八卷 升次	山内 誠三郎	笹原 俊雄	鹿内 信隆	師尾 誠治	宇野 三郎	川崎 良太郎	山口 才松	山平 寛逸	天竺 鑑次郎
取締役													監査役	監査役			

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日	昭和三十九年 五月 二十八日

昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日	昭和三十九年 十一月 二十五日
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------

以上

10. Chronological record of profession and employment.

Note 3 :

a. Name and stock-holding percentage of total stock of the company at the time

stock-holders of your assumption

At the time of assumption of the office
Manchuria Investment Securities
Chiba Works Co.,Ltd.

:
Co.,Ltd.

At the time of retirement
Manchuria Investment Securities
Mr. Genjiro Ogura
Chiba Works Co.,Ltd.

:
Co.,Ltd.

b. Name, position and dates of appointment during the period when you served.

and retirement

Duration (From May 28, 1944 to Nov.

15, 1945)

Name	Position	Date of appointment
Mikitaro Miho	Representative Director	May 28, 1944
Genjiro Ogura	"	"
Eikichi Yamada	Director	May 28, 1944
Shinichi Suko	"	Held office
Yutaka Ito	"	May 28, 1944
Shiro Ishikawa	"	"
Nobuyuki Takagaki	"	"
Tatuichi Nakano	"	"
Takaji Nakamura	"	"
Taiji Uemura	"	"
Masuji Yamaki	"	"
Seitaro Yamanouchi	"	"
Toshio Sasahara	"	"
Nobutaka Shikanai	"	"
Seiji Moroo	"	"
Saburo Uno	Director	Oct.31, 1944
Ryojiro Kawabata	Auditor	Held office
Suematsu Nakaguchi	Auditor	May 28, 1944
Kakuitsu Yamamoto	"	"
Ginjiro Amagasa	"	"

and employment.

Percentage of
at the time

of the office
ent Securities
Ltd.

ent Securities
Ltd.

appointment
served.

1944 to Nov.

stock-holders owning 10 per cent or more of the
of your assumption of office and retirement.

: May. 28, 1944.
Co., Ltd. 66%
26%

: Nov. 15, 1945.
Co., Ltd. 66%
13%
13%

and retirement of other officials of the company

15, 1945)

Executive Director
"
Director
"
"
"
"
"
"
"
"
"
"
Director
Auditor
Auditor
"
"
"

Date of appointment	Date of retirement
May 28, 1944	Nov. 15, 1945
"	Still held office at that time
May 28, 1944. as before	Nov. 15, 1945.
Held office as before	"
May 28, 1944	"
"	"
"	Still held office at that time
"	Nov. 15, 1945.
"	"
"	"
"	Still held office at that time
"	Nov. 15, 1945.
"	Still held office at that time
"	Nov. 15, 1945.
Oct. 31, 1944	Still held office at that time
Held office as before	Oct. 31, 1944.
May 28, 1944.	Nov. 15, 1945.
"	"
"	Still held office at that time
"	"

Tokyo. February 5, 1948.

Mr. Tetsu Katayama,
Prime Minister.

IWAO Gyojo

Re: Application under the Law for the
Termination of Zaibatsu Family
Control.

Sir:

I, the undersigned, was once an official of the Mitsubishi Mining Co., Ltd. and the South Saghalien Colliery and Railway Co., Ltd. designated in Pars.2 and 3, Art.2 of the Law for the Termination of Zaibatsu Family Control, thus falling under Item No.1 and 2, Par.2 Art.3 of the said Law.

However, as I believe I am not to be judged as a Zaibatsu official under the provisions of the Law, I hereby respectfully apply for your kind official recognition of the fact, in accordance with Par.1, Art.6 and Par.1, Art.7 of the said Law,

Soliciting your favourable consideration of this application, I respectfully remain,

Yours sincerely,

South Saghalien Colliery &
Railway Co., Ltd.

G. IWAO

President Director

1. Reasons for Application

2. Attached Documents,

- No.1 Regulations of the Mitsubishi Honsha concerning election of officials.
- No.2 Certification by Mr. Sentaro Komura, former President of Mitsubishi Mining Company,
- No.3 Selections from the proceedings of ordinary general meetings of stockholders of the Mitsubishi Mining Company.
- No.4 Selections from the articles of incorporation of the Mitsishi Mining Company.
- No.5 Certification by Mr. Sentaro Komura, former President of the South Saghalien colliery and Railway Company,
- No.6 Selections from the proceedings of extraordinary meetings of stockholders of the South Saghalien Colliery and Railway Company.
- No.7 Authentication by Mr. Hani Michiyuki, the ~~the~~ Presidents/Director of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.

3. Individual Investigation Document (Questionnaire)

- May 29, 1942. Assumption of office as a director of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.
- May 29, 1945. Resignation of the above-mentioned position.
- Dec. 20, 1946. Assumption of office as the president & director of the South Saghalien Colliery and Railway Co., Ltd.
(The present post)

1. Reasons regarding Paragraph 2, Clause 7, Article 6 of the Law Concerning Termination of Control by Family Members of the Zaibatsu.

A. Concerning directorship in the Mitsubishi Mining Company, assumption of post: May 29, 1942, resignation: May 29, 1945.[^]

(1) Circumstances concerning assumption of directorship:

A. At the time I became a director in the Mitsubishi Mining Company on May 29, 1942, there existed unofficially between Mitsubishi Honsha and this company, its affiliate company, the arrangement that the president of Mitsubishi Honsha is to recommend directors and auditors of the affiliate companies. However, the actual situation was that the presidents of the affiliate company decided upon officials other than president of the affiliate company or assumption of a post of official in an affiliate company by an official or staff of Mitsubishi Honsha. This situation is clarified in attached document No. 1. (Refer to attached document No.1)

B. Therefore, when I became a director, the situation was that the chairman of Board of Directors and president of Mitsubishi Mining Company could recommend me without the recommendation or approval of the president of Mitsubishi Honsha. Co., Ltd. The actual situation was that the president of this company at the time, Sentaro Komura, called me -- I was at the time the manager of Ikuno mine, and told me his intention to recommend me as director. Upon my agreeing to the proposal, my becoming a director was decided in accordance with the articles of incorpora-

tion at the 48th ordinary general meeting of stockholders upon recommendation by Suteji Kawate, at the time chairman of the 48th ordinary general meeting of stockholders and the chairman of the board of directors. It is clarified in attached documents No.2 and 3 that the chairman and president of this company did not recommend me in accordance with recommendation or approval of the president of Mitsubishi Honsha. Co., Ltd. (Refer to attached documents No.2 and No.3.)

Again, at the time I had no talks whatsoever with the president of Mitsubishi Honsha Co., Ltd.

C. It was the custom that the officials of Mitsubishi Mining Company predominantly were recommended from among the employees for the most part by order of seniority. In my case, I was recommended in the same way, and the facts are clearly stated in attached document No. (2).

(2) Actual circumstances concerning performance of my duties:

- A. At the time I assumed the position of director in this company, I was manager of Ikuno Mine. After becoming director, I continued to be Manager of Ikuno Mine until 1945, May 29, 1945. I resigned on that date as Manager of Ikuno Mine and as director. I carried out my responsibilities as Manager of Ikuno Mine under the supervision of the the president of this company and the managing director.
- B. As a director, I attended the meetings of board of directors and participated in the decision of important

affairs in accordance with the articles of incorporation of this company concernin the directors system. The carrying out of such decisions rested with the president and managing director, and I, as ordinary director, did not have the power to carry out such decisions. (Refer to attached document No. 4)

The actual fact is that at the directors meetings which attended, I heard a report on already decided important matters every from the president or managing director.

One or two directors merely asked a few questions at times concerning such reports. There fore, I did not leave Akuno and visit Tokyo just to attend directors meetings. I attended directors meetings when they were being held while I was in Tokyo to see government officials or to consult with the staffs of the engineering department of this company. While holding my post I attended less than 10 directors meetings. Moreover, I kept silent at the meetings I attended. It is clear from the fact mentioned above that I did not exercise authority in carrying out of important affairs of the company.

From the foregoing, the fact that I was not under the control of the Mitsubishi Zaibatsu as seen from the circumstances regarding my becoming an official of the Mitsubishi Mining Company; that from the standpoint of actual carrying out of my work, it cannot be believed that I represented the interests of Mitsubishi Zaibatsu

and participated in the management of important affairs of this company, I ask for recognition of the fact that I am not a zaibatsu executive official.

B. Concerning my position as South Saghalien Colliery and Railway Company (December 20, 1946, date of assumption of post)

(1) Circumstances concerning assumption of the position:

A. I became president of South Saghalien Colliery and Railway Company on December 20, 1946. Between Mitsubishi Honsha Co., Ltd. and the South Saghalien Colliery and Railway Company which is not a affiliate company of Mitsubishi Honsha Co., Ltd., there was no understanding concerning selection of officials as is clearly shown in attached document No.5. (Refer to attached documents No.1 and 6.)

B. On May 29, 1945, I already had resigned from Mitsubishi Mining Company. I was called by Sentaro Komura, the president of the South Saghalien Colliery and Railway Company, and, because it was decided that all the officials of the company would resign and because of readjustments pertaining to the scheduled dissolution of the company. I was asked to accept the post of director, and I accepted the position. On December 20, 1946, as a result, the question of my assumption of the directorship was introduced as Bill No.2 at an extraordinary general meeting of the stockholders of the company, and approved following nomination by the chairman, Mr. Sentaro Komura. Subsequently,

I became president of the company on the assumption

I was elected president of the company on the cooptation of fellow directors at a directors meeting. It is clarified in attached document No. 5 that the president, Mr. Komura, did not obtain previous recommendation or approval of the staff of Mitsubishi Mining Company regarding my selection. (Refer to attached document No.2 and No.6)

From the foregoing -- the fact that I was not under the control of the Mitsubishi Zaibatsu, as seen from the circumstances regarding my becoming an official of the South Saghalien Colliery and Railway Company, and from the standpoint of actual carrying out of my work -- it cannot be believed that I represented the interests of the Mitsubishi Zaibatsu and participated in the management of important affairs of this company. So I ask for recognition of the fact that I was not a Zaibatsu executive official.

(2) Regarding Clause 1, Article 7 of the Law for Termination of Control by the Zaibatsu Family Members.

A. Concerning Paragraph 1:

I am not a person affiliated with the Mitsubishi Zaibatsu through family connections, or the spouse or father, son, brother or sister of the Zaibatsu family member, nor spouse of these persons.

B. Concerning Paragraph 2:

As afore-stated in a. b. No.(1) of B.

C. Concerning Paragraph 4:

I have not held, at the same time, more than one position as an official of a Zaibatsu affiliate company of the Mitsubishi Zaibatsu.

Regarding the Arrangement for Selecting Officials

Attached paper (1)

January, 1948

1. In the selection of officials of the directly affiliated companies specified as "Bunkei-Kaisha" (called hereafter the Subsidiaries), the Mitsubishi Honsha enacted the following memorandum on May 27, 1941.

"The directors and auditors of the Subsidiaries shall be recommended by the President of the Mitsubishi Honsha." Notwithstanding this memorandum, however, the Mitsubishi Honsha greatly esteemed the independence of the Subsidiaries and firmly observed the principle of leaving the selection of their officials to their own decisions.

In actual practice:

- a) The Mitsubishi Honsha made recommendations when sending their own officials or staffs to the Subsidiaries as their directors or auditors.
- b) The President of the Mitsubishi Honsha gave previous approval when the President of the Subsidiary applied for it before assuming the position of President.

Except in these two specified cases, it has been the usual custom to leave the selection of officials to the Subsidiaries themselves.

The above-mentioned memorandum is different in nature from the arrangement regarding approval for the assumption of the position of officials under the provisions of Article 7 of the Law for the Termination of Zaibatsu Family Control.

However, there existed no arrangement in writing except this memorandum, which is similar to that prescribed by the Law.

2. The Subsidiaries are companies designated as such by the Mitsubishi Honsha and placed under the direct "supervision and encouragement" of the Mitsubishi Honsha, as mentioned in the provisions of the Articles of Association which define the purposes of the Mitsubishi Honsha.

At the termination of hostilities, the Subsidiaries of the Mitsubishi Honsha were the following:

- Mitsubishi Heavy-Industries, Limited.
- Mitsubishi Mining Company, Limited.
- Mitsubishi Warehouse Company, Limited.
- Mitsubishi Electric Manufacturing Company, Limited.
- Mitsubishi Chemical Industries Company, Limited.
- Mitsubishi Steel Manufacturing Company, Limited.
- Mitsubishi Oil Company, Limited.
- Mitsubishi Trading Company, Limited.
- The Mitsubishi Bank, Limited.
- Mitsubishi Trust Company, Limited.
- Mitsubishi Estate Company, Limited.

However, the circumstances under which the Mitsubishi Honsha controlled each Subsidiary have varied according to the history, scale, capital relation, etc. of the respective Subsidiaries. Among the directly affiliated companies of the Mitsubishi Concern designated by the Law for the Termination of Zaibatsu Family Control, Mitsubishi Steamship Co., Ltd., Nippon Aluminium Co., Ltd. and Nippon Iron Construction Co., Ltd. are not

Subsidiaries of the Mitsubishi Honsha. As far as the relation with the Mitsubishi Honsha is concerned, these three companies are quite different from the eleven companies mentioned above.

3. The Mitsubishi Honsha had no arrangement, written or unwritten, with regard to the recommendation of officials, except with the above-mentioned eleven Subsidiaries. Furthermore, except when the Mitsubishi Honsha recommended officials or staffs of the Mitsubishi Honsha as officials, the Mitsubishi Honsha have never recommended or approved officials.

4. At the Shareholders' Meeting held on November 1, 1945, the Mitsubishi Honsha deleted a part of the text with regard to the purposes of the Company in the Articles of Association, that is, "to supervise and encourage the Subsidiaries and to promote the development of the associated companies."

The Mitsubishi Honsha thus wiped out its character as a parent company, and declared that it should be dissolved in the future; and at the same time the President, Vice-president and other main officials retired from their positions. All memorandums and other regulations with regard to the control of the Subsidiaries were cancelled officially on the same day. Previous to the Shareholders' Meeting, the Managing Director of the Mitsubishi Honsha called the Presidents of the Subsidiaries together and made a statement to that effect.

As the dissolution of the Zaibatsu is one of the most important occupation policies based on the Potsdam Declaration, General Headquarters and the Japanese Government have issued various statements, directives and memorandums on the subject since

the Occupation of Japan on September 2, 1945. As a result, the control function of the Mitsubishi Honsha as a parent company was completely suspended immediately after the Occupation, that is, long before the Shareholders' meeting mentioned above. The memorandum regarding the selection of officials of the Subsidiaries has, therefore, been abolished practically since then.

5. As far as can be gathered by the Mitsubishi Honsha, there has never been any memorandum similar to Honsha's, regarding the selection of officials, between the Subsidiaries and their affiliated or associated companies. Whether the Subsidiary recommended or acknowledged officials of its affiliated or associated companies has to be proved in individual cases.

I hereby certify the above statement to be true and correct in every detail.

For the Mitsubishi Honsha,
Toshio Ashiguro (Signed)
Liquidator.

Annexed Paper (2)

Circumstances under which Officials of the South
Saghalien Colliery & Railroad Co., Ltd. were nominated.

1. With regard to the nomination of officials of the South Saghalien Colliery & Railroad Co., Ltd., there was no written agreement or understanding between the Company and the Mitsubishi Mining Co., Ltd. Since the South Saghalien Colliery Company was established by the Mitsubishi Mining Company, it was the custom that some officials of the Mitsubishi Mining Co. held the concurrent post of director of the South Saghalien Colliery Company in order to lead and promote the business of the latter company.

On the other hand, the president of the South Saghalien Colliery Company used to recommend superintendents of its coal mines as its officials from the point of view of respecting their opinions and to improve their positions.

In that case, the president recommended the coal mine managers as officials, with their previous consent, at the shareholders' general meetings, after he consulted with the other officials.

No suggestion or recommendation was, therefore, offered beforehand by the Mitsubishi Mining Co. about the nomination of officials.

2. Mr. Taro Goto also assumed the post of a director of the South Saghalien Colliery Company in this way.

At that time he was the superintendent of the Toro Coal mine of this company and I was then the president of the company.

So I recommended him as a director at the shareholders' general

meeting in accordance with the above mentioned practice.

Accordingly, no recommendation was ever offered from any official of the Mitsubishi Mining Co. as to his nomination.

3. The following is the circumstance under which Mr. Gyozo Iwao, now president of the South Saghalien Colliery Co., assumed his post.

After the surrender, I, the then president, and all other officials of the company agreed to resign our posts.

After consulting with those officials, I asked Mr. Gyozo Iwao to take over the office of president because he did not occupy any post then. I told him that this company would inevitably be dissolved in the near future and that he should carry out the liquidation affairs.

Under these circumstances, it was not necessary to get any recommendation from officials of the Mitsubishi Mining Co. beforehand.

I certify that the above statement is true and correct.

South Saghalien Colliery & Railroad
Co., Ltd.

Sentarō Komura,
Former President.

January 20, 1948

(Annex 3)

Excerpt from the minutes of the Proceedings
at the 48th Ordinary General Meeting
of the Shareholders of the
Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Time : Opened at 2 p.m., and ended at 2.20 p.m.,
May 29, 1942.

Chairman : Suteji Kawate, Chairman of the Board of Directors.

Proceedings : Agenda Item No. 2
Matter Relating to Re-election due to the expiry
of the Term of Office of seven Directors, Messrs.
Suteji Kawate, Tokichi Korenaga, Hoyata Iwasaki,
Nobuo Nagahara, Kamesaburo Ikeda, Teiriki Yokoo
and Takayori Akashi; and four Auditors, Messrs.
Takeo Kato, Sobun Yamamuro, Kenzo Tanaka and
Masato Okoshi.

The Chairman placed Agenda Item No.2 before the
meeting, when a motion was made from among the shareholders
that the matter should be left to recommendation and
nomination by the Chairman. The motion was unanimously
supported. Accordingly, the Chairman re-nominated
Messrs. Tokichi Korenaga, Hoyata Iwasaki, Kamesaburo
Ikeda and Takayori Akashi as Directors; and Messrs.
Takeo Kato, Sobun Yamamuro and Kenzo Tanaka as Auditors;
and newly nominated Messrs. Kazuo Funada, Gyozo Iwao
and Morisaburo Kawanami as Directors; and Mr. Matsuji
Mufo as Auditor. He also gave an outline of the personal

histories of the new Directors and Auditor.

.....

I certify the above to be a correct excerpt from the original of the minutes of the proceedings at the 48th Ordinary General Meeting of the Shareholders of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Michiyuki Hani,
Director and President,
Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Januray 20, 1948.

Jan. 20, 1948.

Attached paper (4)

An Extract of Articles of Incorporation
of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.

The present	The former
<p>Art. 15 The Directors and Auditors shall be elected at a General Meeting of Shareholders.</p>	<p>Art. 15 The Directors and Auditors shall be elected from among shareholders holding more than 100 shares at a General Meeting of Shareholders. (Revised on Nov. 29, 1946)</p>
<p>Art. 19 Directors shall form the Board of Directors which shall decide upon important affairs of the company.</p> <p>Meeting of the Board of directors shall be convened by the president Director or a Managing Director and every question shall be decided upon by a majority of the votes of the Directors present.</p> <p>Auditors may be present and state their views at the meeting of the Board of Directors.</p>	<p>Art. 19 Directors shall from the Board of Directors, according to the resolution of which the company business shall be conducted, provided, however, that ordinary daily business and business committed according to the resolutions of the Board of Directors shall be conducted by the Chairman of Board of Directors, the president Director and the Managing Director by their own discretion.</p>
<p>Art. 20 President Director and Managing Director shall conduct business of the company in accordance with the</p>	<p>Art. 20 Meeting of the Board of Directors shall be convened by the Chairman of Board of Diree</p>

The present	The former
<p>£ resolutions of the Board of Directors.</p> <p>Provided, however, that ordinary daily business may be conducted by their own discretion.</p> <p>Remarks: The present Art. 20 has been struck out for the period from May 30, 1944 to Nov. 30, 1945., during which the president Director, who was the responsible person for production under the Law for Control of Munitions Manufacturing Company has been conducting the business representing the Company.</p>	<p>ctors or another representing Director and every question shall be decided upon by a majority of votes of the Directors present.</p> <p>(Revised on May 28, 1943)</p>

I, the undersigned, certify the above-mentioned to be truly in every particular. An Extract of Articles of Incorporation of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.

MICHIYUKI HANI
The President Director of the
Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Attached paper (5)

Circumstances under which officials of the
Mitsubishi Mining Co., Ltd. were nominated.

1. During my tenure of office as president of the Mitsubishi Mining Co., Ltd. there was no written agreement or understanding about nomination of officials in the company.
2. When some of the officials of our company were elected from among officials of the Mitsubishi Honsha Company, it was a custom that such suggestion was made by the president or any other representative official of the Mitsubishi Honsha.

On the other hand, other officials of our company were selected from among chiefs of departments in the Head Office or superintendents of mines, for the purpose of elevating the status of such staff members.

It was the custom that officials were usually selected from those members of the staffs who had served the company for many years, and were fitted for officials from the viewpoint of their characterd experience, ability and good knowledge, and whose salaries were over around 500 yen in month before the end of the war.

The president of our company selected officials from candidates from the senior members after consultation with the managing directors, and then personally nominated them at shareholder's general meetings with their previous consent.

3. Messrs. Otoji Kobori, Bunji Jo, Masakatsu Takano and Gyozo Iwao were nominated as directors of our company in just the same manner.

I was the president of the company and recommended the above directors at shareholder's general meetings with their previous consent, after consulting the managing directors.

It was, however, not necessary to get any recommendation or any previous approval from the president or any other representatives of the Mitsubishi Honsha.

As regards Mr. G. Iwao, his nomination was delegated to Mr. Suteji Kawate, then the chief of board of directors of the company.

I was then the president and selected him as a director after consulting the managing directors.

I certify that the above statement is true and correct.

Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Sentaro Komura,

Former President.

January 20, 1948.

(Annex 6)

Excerpt from the Minutes of the Proceedings
at the Extraordinary General Meeting
of the Shareholders of the
South Saghalien Colliery and Railway Co., Ltd.

Time : Opened at 2 p.m., and ended at 2.20 p.m., December
20, 1946.

Chairman : SENTARO Komura, Director and President.

Proceedings: Agenda Item No.2.

Matter Relating to By-election Due to the Resignation
of All the Directors and the Auditor.

The Chairman placed Agenda Item No.2 before the meeting,
when a motion was made from among the shareholders that the
matter should be left to recommendation and nomination by
the Chairman. The motion was unanimously supported.
Accordingly, the Chairman newly nominated Mr. Gyozo Iwao,
Mr. Shigezo Kawaguchi and Mr. Mangoro Fujioka as Directors
and Mr. Toshiaki Kawaji as Auditor.

.....

I certify the above to be a correct excerpt from the original
of the minutes of the proceedings at the Extraordinary General
Meeting of the Shareholders of the South Saghalien Colliery and
Railway Co., Ltd.

Gyozo Iwao,

Director and President,
South Saghalien Colliery
and Railway Co., Ltd.

January 20, 1948.

Attached Paper (7)

January 20, 1948.

Circumstances under which Officials of the South
Saghalien Colliery & Railroad Co., Ltd. were nominated.

There was no written agreement or understanding between the
South Saghalien Colliery and Railroad Co., Ltd. and the Mitsubishi
Mining Co., Ltd. concerning the selection of officials of the for-
mer Company.

Since the Mitsubishi Mining Company took over the enterprise
of the South Saghalien Colliery Company, it was a custom that the
some officials of the former Company took the additional posts of
officials of the latter Company. In order to lead and promote the
business of the latter Company.

On the other hand, the president of the South Saghalien
Colliery Company used to recommend superintendent of its coal
mines as its officials, so as to promote the staff members'
positions.

In such cases, the president recommended the coal mine
managers as officials, with their previous consent, at the
shareholders' general meeting, after consulting with the managing
directors.

No recommendation was, therefore, offered beforehand by any
official of our Company in this connection.

I certify the above statement to be true and correct

Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Michiyuki Hani,

President.

APPROVED 1948
承認 昭和23年5月9日

三菱

NAME GYOZO IWAO

SOUTH SAKHALIN COLLIERY & RAILROAD CO., LTD.

No. Name of Company

受
23.2.16
付

操

個人調査書

(記載上の一般的注意)

一、本調査書は、三通提出しなければならない。

二、**田**書は、日本文及び英文で記入する。その場合、英文記載事項は對應頁の日本語に照應するものとする。日英
兩文間に相違がある場合は、英文によるものとする。

三、記載事項は、楷書(英文の場合は大文字活字體)で明瞭に記入しなければならない。

四、**上**各記載事項は、空白のままにしないよう正確に且つ良心的に記入しなければならない。

五、各記載事項中該當事項のない場合は「該當しない」又は「該當事項なし」等の文句を用いて記入しなければならない。
ない。

六、記載すべき空欄に充分の餘白がない場合は、補助紙を用い、「補助紙に續く」等の字句を記入して、いずれの記載欄の補助紙として用いたかを明かにしなければならない。

七、この調査書の重要な事項について虚偽の記載をし又は事實をかくした記載をした者は、財閥同族支配力排除法第三十一條の規定により處罰せられる。

南薩太炭礦鐵道株式會社 第 號

氏名

岩 尾 行 造

個人調査書

一、姓名(振假名をつけること)

イワ
岩尾行造
キヨウゾウ

二、從來使用し又は一般に通用している他の名稱(通稱、筆名等)

該當事項ナシ

三、生年月日(年齢数え年)

明治三十年十二月九日(六十二才)

四、出生地(都道府縣)

廣島縣

五、現住所(略記しないこと)及び電話番号

東京都世田ヶ谷區玉川田園調布二丁目七一六番地

六、本籍地(略記しないこと)

電話 田園調布二、八六七番

廣島縣佐伯郡廿日市町四二番屋敷次一

南大東職直和方

谷 手 計 査

Page 1

Questionnaire

1. Name (in full).
GYOZO IWAO

2. Other names which you have used or by which you have been known,
(alias or penname).

NONE

3. Date of birth (age).

DEC. 9, 1887 (62 YEARS OLD)

4. Place of birth (prefecture).

HIROSHIMA PREF.

5. Present address (in full) and telephone number.

**516, 2-GHOMI, TAMAGAWA-DENENCHOFU, SETAGAYA-KU
TOKYO.**

(TEL. DENENCHOFU 2,867)

6. Permanent address (in full).

**TSUGI 1, 42-BANYASHIKI, HATSUKAI CHI-CHO,
SAEKI-GUN, HIROSHIMA PREF.**

七、現に保有し又は就こうとする財閥、制限、從屬又は關係會社における役員としての地位

(一) 會社の名稱及び財閥系統(昭和二十年九月二日以降稱號變更があつた場合は舊稱號を含む)

南樺太炭礦鐵道株式會社 三菱系

(二) 財閥會社、制限會社、從屬會社又は關係會社の區分(財閥會社の場合には更に直系、準直系又は傍系の區分)

財閥準直系會社

(三) 地位

取締役社長

(四) 就任の豫定日

該当事項ナシ

八、前項の他本人の保有するすべての身分及び職業

該当事項

九、財閥としての指定者との親族關係

(一) 關係の有無及び有りとすればその詳細(財閥同籍者との親族關係を含む。)

該当事項

(二) 指定者が指定された日において指定者と同じ戸籍内にあつたことの有無

該当事項

Page 2

7. Position of official in company which you hold or for which you are under consideration.

a. Name of company and the lineage of Zaibatsu where the company belongs. (In case name of the company has been changed after 2 September 1945 the former name will also be given.)

**SOUTH SAKHALIN COLLIERY & RAILROAD CO., LTD.
(MITSUBISHI LINEAGE)**

b. Classification of Zaibatsu, restricted, subsidiary or connected company (in the case of Zaibatsu company, the classification of the direct affiliate, indirect affiliate or associate company will also be given.)

ZAIBATSU INDIRECT AFFILIATE

c. Position:

PRESIDENT & DIRECTOR

d. Scheduled date of assumption of the position:

NONE

8. All other positions and professions which you hold now.

NONE

9. Family relationship with the persons designated as Zaibatsu.

a. Existence or not of the relationship and its details, if any. (including relationship with the Zaibatsu family members.)

NONE

b. Whether or not you were on the same family register with the designated persons on the day of their designation.

NONE

七、職業の履歴

註一、本欄の會社團體とは財閥會社に限らずあらゆる會社團體を含むものとし、團體中特に組合、協會、協議會等の經濟團體については詳細に記入すること

註二、職務内容に關し本人の地位から當然豫想せられる職務を事實上擔當していなかつた場合には本人が實際に擔當していた職務内容及び本人に代わり當該地位の管轄たるべき職務を事實上擔當していた者の氏名を記入すること

註三、本人が役員として又は役員の特遇の地位にて勤務した會社が財閥會社たる場合には、左の事項を附記すること
(1) 本人の役員としての就任及び退任の時に於ける當該會社の株式の割以上の所有者の氏名及び持株率
(2) 本人が勤務した期間における他の役員の名、地位及び就任退任年月日

就職及び退職日附	會社團體等の名稱	地位(職員たる場合を含む)	職務内容(詳細に)	會社團體等の事業内容及び所在地

就職及ビ退職日 附	會社團體等ノ名稱	地位(職員タル場合ヲ含ム)	職務内要 (詳細ニ)	會社團體等ノ事業 内容及ビ所在地
大正二年八月二十八日	山三麥合資會社佐波鑛		採鑛係	鑛業 新瀉縣
昭和二年一月二十四日	三麥鑛業株式會社 生野鑛業所	副長	鑛山經營補 佐	兵庫縣
五年八月十五日	同社佐波鑛業所	所長	鑛山經營	新瀉縣
十二年二月二十五日	同社生野鑛業所		・	兵庫縣
十七年五月二十九日	同社	取締役	(現職ノ儘)	・
二十年五月二十九日	同社	取締役退任		・
二十一年十月二十日	南樺太炭鑛鐵道株式會社	取締役社長	事業全般統轄	石炭鑛業 樺太

附記

(1) 本人が役員トシテノ就任及ビ退任ノ時ニオケル當該會社ノ株式ノ一割以上ノ所有者ノ氏名及ビ持株率

イ、三菱鑛業株式會社役員在任時

株式會社三菱本館

四三%

ロ、南樺太炭礦鐵道株式會社役員在任時

三菱鑛業株式會社

九九八% (昭和二十一年十二月二十四

日持株會社整理委員會へ受付委任)

(2) 本人が勤務シタ期間ニオケル他ノ役員ノ氏名、地位及ビ就任退任年月日
(2) 本人ハ當社ノ役員名義ニナリ居ルモ實際ハ一〇〇%三菱鑛業株式會社所有)

イ、三菱鑛業株式會社役員在任時

氏名	地位	就任年月日	退任年月日
池田龜三郎	取締役	昭和一六一、二八	昭和二一、五三〇

口南樺太炭礦鐵道株式會社役員在任時

氏名	地位	就任年月日	退任年月日
蔦田三雄	取締役	昭和一五年五月二九	昭和二十一年一月三〇
池田乾治	取締役	昭和一五年五月二九	昭和十八年五月二八
山室宗文	常務取締役	昭和一八年五月二八	昭和二十一年一月三〇
田中完三	監査役	昭和一五年五月二九	昭和二十一年一月三〇
川浪守三郎	監査役	昭和一七年五月二九	昭和二十一年一月三〇
亡武藤松次	監査役	昭和一七年五月二九	昭和二十一年一月三〇
川口繁藏	取締役	昭和二十一年一月三〇	在任中
藤岡萬五郎	取締役	昭和二十一年一月三〇	在任中
川路利顯	監査役	昭和二十一年一月三〇	在任中

10. Chronological record of profession and employment.

Note 1: "Organization or company" mentioned in this column include any organization or company other than Zaibatsu company. With reference to organizations, relationship with economic organizations such as union, association or conference etc. will particularly be given in detail.

Note 2: In case you did not, in fact, handle duties for which you have been authorized, duties and powers which you actually handled and name of the person who dealt with duties originally authorized for you will be given.

Note 3: With reference to the Zaibatsu company where you served as official or as a person accorded with the status of official, the following entries are additionally required.

- a. Name and stock-holding percentage of stock-holders owning 10 per cent or more of the total stock of the company at the time of your assumption of office and retirement.
- b. Name, position and dates of appointment and retirement of other officials of the company during the period when you served.

Dates of employment and retirement.	Name of company or organization where you served.	Status of the position (including position as ordinary personnel.)	Duties and powers (in detail).	Substance of business of organization or company where you served and its location.
AUG. 28, 1913	SADO MINE? MITSUBISHI LIMITED PARTNERSHIP		MINING DIV.	MINING, NIIGATA- KEN
JAN. 24, 1927	IKUNO MINE, MITSUBISHI MINING CO., LTD.	VICE- SUPER- INTEND- ENT	ASSISTANCE OF MINE MANAGEMENT	" HYOGO- KEN
AUG. 15, 1933	SADO MINE, "	SUPERINT- ENDENT	MINE MANAGEMENT	" NIIGATA-KEN
FEB. 25, 1937	IKUNO MINE "	"	"	" HYOGO-KEN
MAY 29, 1942	THE SAME COMPANY	DIRECTOR	" (IN AD- DITION TO THE PRESENT POSITION)	"
MAY 29, 1945	"	RESIGNED THE DIRECT- ORS OFFICE		

(1) Name and stock holding percentage of stock-holders owning 10 percent or more of the total stock of the company at the time of my assumption of office and retirement.

a. Staff of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Name	Stock-holding percentage
The Mitsubishi Honsha Limited Partnership	43 %

b. Staff of the South Saghalien Colliery & Railroad Co., Ltd.

Name	Stock-holding percentage
The Mitsubishi Mining Co., Ltd.	99.8 %

Committed it to the committee of the Holding Company Liquidation on 24th December, 1946

0.2 %

Though the percentage is under the managing staff's name of the company, in fact 100% of them are ~~owned~~^{owned} by the Mitsubishi Mining Co., Limited.

(2) Name, Position and dated of appointment and retirement of other officials of the company during the period when I served.

a. At the time of managing staff of the Mitsubishi Mining Co., Ltd.

Name	Position	Date of Assump- tion of office	Date of Retirement
Kamesaburo Ikeda	Director	Nov. 28, 1941	May 30, 1946
Nobuo Murakami	Auditor	May 30, 1946	Oct. 7, 1947
The late Koyata Iwasaki	Director	April 1, 1918	Nov. 1, 1945
Kazuo Funada	Director	May 29, 1942	Nov. 1, 1945
^{Ei} Hanabusa Katsumoto	Managing Director	May 29, 1940	Dec. 19, 1946
Takanosuke Sasaki	Director	Nov. 27, 1936	Nov. 30, 1942
Seiroku Moroto	Director	Dec. 18, 1920	April 1, 1947
Sentaro Komura	President Director	Nov. 28, 1941	Dec. 19, 1946
Haruki Tomita	Managing Director	Nov. 28, 1939	Nov. 30, 1945
Harunosuke Suzuki	Managing Director	Nov. 28, 1941	Oct. 31, 1943
"	Director	Oct. 31, 1943	Nov. 10, 1944
"	Auditor	Nov. 29, 1944	Nov. 30, 1945
Hikoyata Iwasaki	Director	May 26, 1938	Nov. 1, 1945
Takeo Kato	Auditor	May 26, 1938	May 31, 1946
Takamori Akashi	Director	May 26, 1939	May 30, 1944
"	Managing Director	May 30, 1944	Dec. 19, 1946
Tokichi Korenaga	Managing Director	Nov. 28, 1941	Dec. 19, 1946
Mitsuo Maita	Director	May 29, 1940	Nov. 30, 1945
^e Kanji Ikeda	Director	May 29, 1940	May 28, 1943
"	Managing Director	May 28, 1943	Dec. 19, 1946
Sobun Yamamuro	Auditor	May 29, 1940	May 31, 1946
Kanzo Tanaka	Auditor	May 29, 1940	Nov. 1, 1945
Morisaburo Kawanami	Auditor	May 29, 1942	Nov. 26, 1944
The late Matsuji Muto	Auditor	May 29, 1942	June 1, 1944

b. At the time of managing staff of the South Saghalien Colliery & Railroad Co., Ltd.

Name	Position	Date of Assumption of office	Date of Retirement
Shigezo Kawaguchi	Director	Dec. 20, 1946	In office
Managoro Fujioka	Director	Dec. 20, 1946	"
Toshiaki Kawaji	Director	Dec. 20, 1946	"

DEC. 20.
1946

SOUTH
SAKHALIN & RAIL-
ROAD CO.
LTD.

PRESIDENT
& DIRECTOR

GENERAL
SUPERVISION
OF WHOLE
BUSINESS

COAL
MINING,
SAKHALIN

十一、本人の役員就任當時その勤務した財閥會社と財閥又は財閥直系會社との間に役員としての就任についての事前承認を必要とする旨の取極の有

無
(一) 明文の取極の有無

三菱本附ト三菱鑛業會社トノ間ニ役員選任ニ關シ、分系各會社取

締役監査役ハ三菱本附社長之ヲ推薦スレトイフ内規ガアツタ

(二)

三菱鑛業會社ト南樺太炭鑛鐵道株式會社トノ間ニ役員選任ニ關シ、
何等内規ハ、
右ノ如ク内規ハ存在シタガ三菱本附ハ各分系會社ノ自主性ヲ尊重

シ分系會社ノ役員ノ選任ハ各社ノ自治ニ委ヌル方針デアツタノテ
私ノ役員就任ノ實情ハ三菱鑛業會社ノ社長ガ職員ヲ優遇スル趣旨
カラ職員デアアル本店部長、場所長カラ人選シテ推薦スル從來カラ
ノ慣例ニヨツテ當時ノ三菱鑛業會社ノ社長ガ生野鑛業所長デアツ
タ私ヲ人選シテ株主總會テ推薦シタモノデアツテ同社社長ハ私ノ
推薦ニツキ豫メ三菱本附社長ノ推薦又ハ承認ヲ受ケタモノデアハナイ

イ 南樺太炭鑛鐵道株式會社ノ役員就任ノ實情ハ終戰ノ結果當時ノ同
社役員全體ガ辭任スルコトヲナシ、社長ガ他ノ同社役員
トモ協議ノ上當時閉職ニ於テ私ニ對シ、將來同社ノ解散シタ
トモ事情並ニ同社整理ノ爲メ私ニ對シ、將來同社ノ解散シタ
ナイ事ヲ長ガ株主總會メ推薦シテ就任ニ決定シタモ、
ハ私ノ推薦ニツイテ豫メ三菱鑛業會社ノ役員カラ推薦ヲ受ケタ
ノハ私ノ推薦ニツイテ豫メ三菱鑛業會社ノ役員カラ推薦ヲ受ケタ

11. At the time of your assumption of office as official, whether or not the arrangement that the previous approval be obtained from the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliate regarding assumption of the position of official existed between the Zaibatsu company where you served and the Zaibatsu or the direct Zaibatsu affiliates.

a. Whether or not the arrangement existed in writing.

(A) ~~There existed the following arrangement as a written agreement between the Mitsubishi Honsha Co., Ltd. and~~
THERE WAS THE TRADITION CONCERNING THE APPOINTMENT OF OFFICERS OF
MITSUBISHI LIMITED PARTNERSHIP AND MITSUBISHI MINING CO., LTD.
DIRECTORS
AND AUDITORS OF EACH COMPANY OF MITSUBISHI LINEAGE.

b. Details of circumstances under which you assumed the position of

the Mitsubishi Mining Co., Ltd.: "The directors and

auditors of the affiliate companies shall be recommen-

ded by the president of the Mitsubishi Honsha Co., Ltd."

(B) There existed no understanding or arrangement regarding
election of officials between the Mitsubishi Mining Co.,
Ltd. and the South Saghalien Colliery and Railway Co.,
Ltd. the Mitsubishi Honsha Co., Ltd. held the principle

to leave the election of the other part of officials of
its affiliate companies to autonomous decision of each
affiliate company from the view point of respecting the
independency of each. And the President of the Mitsubishi
Mining Co., Ltd., recommended the officials of the com-
pany, selecting from among the staffs, such as chiefs of
departments of head office, or managers of mines or branch
offices, according to the company's custom for the purpose